

開催日時: 12月15日(土)
10:00~16:30 (受付開始:9:30)

開催場所: テクノプラザおおた(群馬大学太田キャンパス, 東武鉄道太田駅から徒歩10分)
駐車場: キャンパス西側立体駐車場(有料)の2階以上. 会場受付に駐車券をお持ちください. 駐車料金を無料にする手続きを行います.(1階は近隣住民用のために駐車できません. キャンパス敷地内の駐車はご遠慮ください).

参加費: 無料.
(主催: 広島大学大学院教育学研究科自然地理学研究室・群馬大学地盤工学研究室・株式会社火山灰考古学研究所)

スケジュール

9:30	受付開始
10:00-	開会のご挨拶
	地盤工学・地形学(10:00-11:00)
10:00-10:10	O-1 早田 勉(火山灰考古学研究所): 弘仁地震発生1200周年を迎えて—群馬における地震災害史研究
10:10-10:35	O-2 若井明彦(群馬大学): 発掘された地変痕跡と現在の地盤災害とを類比する意義
10:35-11:00	O-3 熊原康博(広島大学): 太田断層の地形・表層地質学的認定
	文献史学(11:00-11:40)
11:00-11:20	O-4 松田 猛(群馬地域文化振興会): 史料にみる弘仁地震と上野国
11:20-11:40	O-5 弘胤 佑(広島城北中・高等学校): 文献史料からみた平安朝廷の弘仁地震への対応
11:40-12:10	ポスター見学(11:40-12:10): 発表者からの内容紹介
12:10-13:10	昼食(各自でご用意ください)
	考古学1(13:10-14:50)
13:10-13:30	O-6 桜岡正信(群馬県埋蔵文化財調査事業団): 群馬県内の埋蔵文化財調査で検出された弘仁九年地震の痕跡の概要
13:30-14:10	O-7 関 晴彦(群馬県埋蔵文化財調査事業団): 榛名山麓の地震跡
13:50-14:10	O-8 加部二生(桐生市教育委員会): 赤城山南麓における弘仁地震被害状況の再検討
14:10-14:30	O-9 小宮俊久(太田市教育委員会): 太田市における古代の地震の痕跡
14:30-14:50	O-10 出浦 崇(伊勢崎市教育委員会): 三軒屋遺跡とその周辺の地震災害
	休憩(14:50-15:10)
	考古学2(15:10~15:50)
15:10-15:30	O-11 亀田幸久・塚本師也(とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター): 栃木県足利市あがた駅南遺跡における噴砂痕跡
15:30-15:50	O-12 田中広明(埼玉県埋蔵文化財調査事業団): 埼玉県北部の弘仁地震による被災の状況
15:50-16:25	討論
16:25-16:30	閉会のご挨拶



開催日時: 12月15日(土)
10:00~16:30 (受付開始:9:30)

開催場所: テクノプラザおおた(群馬大学太田キャンパス, 東武鉄道太田駅から徒歩10分)
駐車場: キャンパス西側立体駐車場(有料)の2階以上。会場受付に駐車券をお持ちください。駐車料金を無料にする手続きを行います。(1階は近隣住民用のために駐車できません。キャンパス敷地内の駐車はご遠慮ください。)

参加費: 無料。
(主催: 広島大学大学院教育学研究科自然地理学研究室・群馬大学地盤工学研究室・株式会社火山灰考古学研究所)

ポスター発表

P-0	若井明彦(群馬大学)・熊原康博(広島大学)・早田 勉(前橋工科大学・非): 弘仁地震発生1200周年記念防災パネル
P-1	荻原研一・小菅将夫(岩宿博物館): 群馬県における弘仁九年の地震関連遺跡の分布について
P-2	田畑あすみ(群馬県県土整備部): 弘仁地震痕跡検出遺跡のデータベースの作成
P-3	原 雅信(群馬県埋蔵文化財調査事業団): 渋川市金井下新田遺跡で確認された地割れについて
P-4	杉山秀宏(群馬県埋蔵文化財調査事業団): 前橋市青柳宿上遺跡で検出された弘仁地震の痕跡
P-5	井上慎也(安中市教育委員会): 安中市横野台地における遺跡発掘調査で検出された地震の痕跡
P-6	青木利文(山下工業): 弘仁地震による古墳の破壊状況—前橋市小島田清水尻遺跡の例
P-7	酒井宏豪(群馬大学・学)・若井明彦(群馬大学)・早田 勉(火山灰考古学研究所)・青木利文(山下工業): 前橋市小島田古墳群における弘仁地震の液状化特性
P-8	永井智教(日本考古学協会会員)・横澤真一(伊勢崎市教育委員会): 地震性地すべりによって破壊された茂呂村23号墳
P-9	小島敦子(群馬県埋蔵文化財調査事業団): 伊勢崎市・太田市三ツ木皿沼遺跡の弘仁地震被災島の復旧について
P-10	吾妻 崇(産業技術総合研究所): 太田断層を横切る測線で実施された浅層反射法地震探査
P-11	水野清秀(産業技術総合研究所): 深谷断層系の活動時期
P-12	水野清秀・小松原 琢(産業技術総合研究所): 沖積低地における液状化層のトレンチ調査—利根川下流域での調査例
P-13	苅谷愛彦(専修大学)・山田隆二・木村 諒(防災科学技術総合研究所): 南アルプスの巨大崩壊: 奈良-平安時代のドンドコ沢岩石なだれ
P-14	(防災科学技術総合研究所)・苅谷愛彦(専修大学)・木村 諒(防災科学技術総合研究所)・佐野雅規(早稲田大学)・對馬あかね・李 貞・中塚 武(総合地球環境学研究所): 同位体年輪年代学を用いた巨大崩壊発生年代の推定
P-15	加部二生(桐生市教育委員会): 赤城山南麓における弘仁地震被害状況の再検討

